

CLIPPEDIMAGE= JP406149815A

PAT-NO: JP406149815A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06149815 A

TITLE: STOCK CONTROLLER FOR MAIL VENDING MACHINE

PUBN-DATE: May 31, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ARIMORI, FUKUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
------	---------

NIPPON AVIONICS CO LTD	N/A
------------------------	-----

APPL-NO: JP04327567

APPL-DATE: November 13, 1992

INT-CL_(IPC): G06F015/21; G07F009/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To automatically process the payment of necessary amounts of postage stamps and post cards, the adjustment of postal charges, the issue of receipts, the output of daily sales reports, the stock control, etc.

CONSTITUTION: The operating contents of a display device 8 containing a touch panel show the purchase of the postage stamps or post cards, the charge is announced through a voice output device 5 and at the same time displayed. Then the requested number of sheets of postage stamps or post cards are discharged through a discharging port 10 after detection of a fact that a user paid the due charge. Then a receipt is issued from a receipt issuing machine 3. When the device 8 shows the operation of a mail, the charge is announced based on the weight, the type and the handling type of the mail. At the same time, the postal charge is displayed at a prescribed part. Then the equivalent postage stamps are discharged through the port 10 after the user paid the due charge. Then a receipt is also issued by the machine 3.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-149815

(43)公開日 平成6年(1994)5月31日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 15/21
G 0 7 F 9/00

識別記号 庁内整理番号

A 7052-5L
L 9256-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号 特願平4-327567

(22)出願日 平成4年(1992)11月13日

(71)出願人 000227836

日本アピオニクス株式会社

東京都港区西新橋1丁目15番1号

(72)発明者 有森 福男

東京都港区西新橋一丁目15番1号 日本アピオニクス株式会社内

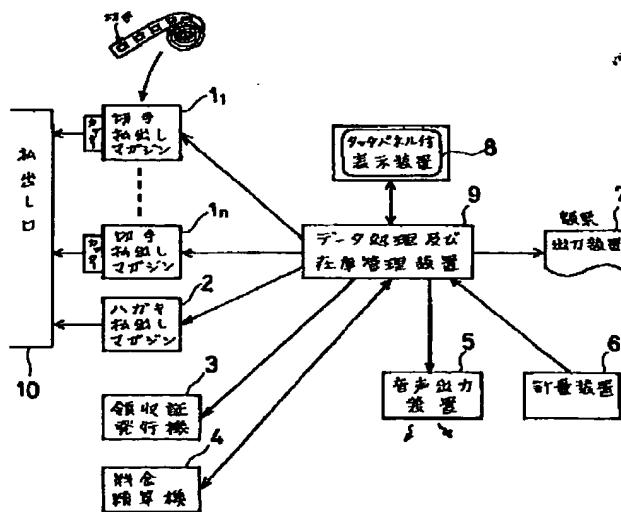
(74)代理人 弁理士 山川 政樹

(54)【発明の名称】 郵便自動販売在庫管理装置

(57)【要約】

【目的】 必要な金額の切手や葉書の払い出し、料金精算、領収証発行、売上げ集計日報出力、在庫管理等を自動的に処理するようとする。

【構成】 タッチパネル付表示装置8の操作内容が切手または葉書の購入であるときは、所定金額を音声出力装置5によってアナウンスする共に、料金を表示し、利用者が所定料金を投入したことを検出した後に切手または葉書を所定数量だけ切手または葉書を払出口10に払い出し、領収証を領収証発行機3から発行する。郵便物の差し出しだりであるときは郵便物の重量と、郵便物種別および取扱種別に従って所定金額をアナウンスすると共に所定部分に料金を表示して、利用者が所定料金を投入した後に、その金額に相当する切手を払い出し口10に払い出し、その金額の領収証を領収証発行機3から発行する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 葉書およびロール状になっている各種の切手類が収容された払い出しマガジンと、
切手または葉書の購入を選択するタッチパネル付表示装置と、
前記選択内容に応じて所定料金額を出力する音声出力装置と、
前記所定料金額を収納する料金精算機と、
前記料金額と前記選択された内容から商品を所定数量だけ払い出した上で残量を計数するデータ処理装置・在庫管理装置とから構成される郵便自動販売在庫管理装置。

10

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、郵便局の窓口業務である切手類の売上、在庫管理を自動的に行うための郵便物自動販売管理装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、郵便局における利用者への対応は、窓口で局員が利用者の申し出に従って切手類を販売するという方式が一般的であり、また売上げ、集計、在庫管理も局員が行っている。

20

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような切手類の販売はシート方式のため、局員が必要数を切り取って販売しなければならないし、領収証等もその都度、局員が発行しなければならなかった。また局員交代の度に売上げや在庫数等の申し次ぎ、確認等が必要であり、かつ在庫管理や売上げ集計等も局員が行っており、窓口業務は人手と手間がかかっている。

30

【0004】本発明はこのような状況に鑑みてなされたもので、必要な金額の切手や葉書の払い出し、料金精算、領収証発行、売上げ集計日報出力、在庫管理等を自動的に処理するようにしたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】このような課題を解決するために本発明は、ロール状になっている各種切手類がロール状に収容された複数の切手払い出しマガジンと、葉書払い出しマガジンと、タッチパネル付表示装置の入力情報に基づいて払い出す切手あるいは葉書の枚数や在庫管理等を行うデータ処理・在庫管理装置と、払い出した金額の領収証を発行する領収証発行機と、郵便物の重量を計量する計量装置と、料金精算を行う料金精算機と、所定の操作案内を行う音声出力装置と、売上げ記録を行う帳票出力装置を備えたものである。

40

【0006】

【作用】タッチパネル付表示装置の操作内容が切手または葉書の購入であるときはデータ処理・在庫管理装置の処理によって、所定金額を音声出力装置によってアナウンスするとともに料金を表示し、利用者が料金精算機に前記所定料金を投入したことを検出した後に切手または

50

葉書を所定数量だけ切手払い出しマガジンまたは葉書払い出しマガジンから払い出し口に払い出したうえ、その金額の領収証を領収証発行機から発行する。タッチパネル付き表示装置の操作が郵便物の差し出しであるときは計量装置に乗せられた郵便物の重量と、タッチパネル付き表示装置で操作された郵便物種別および取扱種別に従って所定金額を音声出力装置によってアナウンスすると共にタッチパネル付き表示装置の所定部分に所定料金を表示して、利用者が料金精算機に前記所定料金を投入したことを検出した後、その金額に相当する切手を切手払い出しマガジンから切手払い出し口に払い出して、その金額の領収証を領収証発行機から発行する。

【0007】

【実施例】図1は本発明を適用した装置の一実施例を示すブロック図である。ロール状に収容された切手を収納する切手払い出しマガジン11～1n、葉書払い出しマガジン2、領収書発行機3、料金精算機4、音声出力装置5、計量装置6、出力装置7、タッチパネル付表示装置8がそれぞれデータ処理・在庫管理装置9に接続されている。

【0008】タッチパネル付表示装置8は利用者とのインターフェイスを行う部分であって郵便物の定形あるいは非定形または葉書等の形状識別、普通郵便あるいは速達等の取扱種別、数量等のように、利用者が操作する必要のある部分がそれぞれ枠内に表示されており、利用者がその所望の部分に触るとデータ処理・在庫管理装置9にその情報が伝えられ、そこでのデータ処理が行われることによって所定の情報が表示されるようになっている。またこの装置を操作することによって購入したものは払い出し口10から出力されるようになっている。

【0009】このように構成された装置において、利用者は先ずタッチパネル付表示装置8のうち所望の部分に触れ、必要な操作を行うと、音声出力装置5によって音声で料金が通知され、またその料金がタッチパネル付き表示装置8の表示部に表示される。封書の場合は郵便物を計量装置6にかけると重量に応じた料金が表示器に表示されると同時に、音声で料金が通知される。

【0010】この場合、切手はロール状に収容されているので、必要な枚数引き出されたことが切手払い出しマガジンによって検出されると、その切手払い出しマガジンに設けられているカッターによって切手が切り離される。

【0011】次に相当する金額を料金精算機4に投入して料金精算を行うと、該当する切手や葉書が払い出されると同時に領収証が領収証発行機3により発行される。これは利用者による操作例であるが、局員による受付の場合も同様であり、種別選択や数量を入力するだけで必要な枚数が払い出されるため、局員がシートからの切り放しや、葉書の枚数計算を行う操作が不要になる。

【0012】また売上金額や払い出しが数量、在庫数量等

3

4

のデータ処理および在庫管理により常に管理されているため、必要に応じて帳票出力装置により出力することができる。在庫数量減に伴う発注指示についても、予め発注対応在庫数をインプットしておけば、その在庫数になると自動的に発注指示のアナウンスをする事が可能である。また、払い出しマガジンへの切手類のロールは2本収納しておけばより効率的な交換が可能になる。

【0013】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、切手をロール状にして収容したので必要枚数取り出した後にカッターで切断すれば良く、また葉書に付いても局員が必要枚数を数える必要ないので効率的に販売でき、局員は人手を介することが必要な事務に専念でき、利用者へのサービスの質を向上させることができるという効果を有

する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 切手払い出しマガジン
- 2 葉書払い出しマガジン
- 3 領収証発行機
- 4 料金精算機
- 5 音声出力装置
- 6 計量装置
- 7 帳票出力装置
- 8 タッチパネル付表示装置
- 9 データ処理・在庫管理装置
- 10 刃子
- 11 カッタ
- 1n 切手
- 10 拡張口
- 7 帳票
- 6 計量装置
- 5 音声出力装置
- 8 タッチパネル付表示装置
- 9 データ処理・在庫管理装置
- 11 カッタ
- 1n 切手
- 10 拡張口
- 7 帳票
- 6 計量装置
- 5 音声出力装置
- 8 タッチパネル付表示装置
- 9 データ処理・在庫管理装置

【図1】

